

17 地域づくり推進研修



目的	人口減少が喫緊の課題である現代では、持続可能な地域社会の実現のために、行政と地域住民が一体となって地域運営を行う必要がある。本研修では、県内外の事例を通じて、行政職員として地域づくりにどのように向き合い、進めていくべきかを学ぶ。		
内容	(1) 地域の人材育成について、鹿児島県を中心に展開するコミュニティ大工の取り組みを例に考える (2) 自治体・行政職員の地域との関わり方について、鹿児島県庁コミュニティ大エクラブを例に考える		
実施月日	令和7年10月20日(月)～21日(火)		
対象者 ・ 定員	＜市町村職員との合同研修＞		
	県職員	中堅職員キャリアアップ研修対象者で受講を希望する職員	12名
		係長級キャリアアップ研修対象者で受講を希望する職員	18名
	市町村職員	採用2年目～係長等の職員	12名
研修講師	大分大学経済学部 准教授 山浦 陽一(やまうら よういち)氏		
プロフィール	東京都出身。 2007年東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程修了。農学博士(農学)。 公益財団法人日本農業研究所研究員を経て2009年大分大学経済学部准教授(現職)。 現在の専門は地域運営組織の設立・運営、地域づくりのやる気や動機、プロジェクトデザインなど。 2019年から地域運営組織の中間支援を行う(一社)コミュニティサポートおおいた理事を務めている。 [主要著書] 『地域づくりのやる気学』農山漁村文化協会(2025年)共編著 『地域福祉における地域運営組織との連携』JCA研究ブックレット(2022年)著 『地域人材育成を育てる手法』農山漁村文化協会(2022年)共編著 『内発的農村発展論』農林統計出版(2018年)共著 『地域運営組織の課題と模索』筑波書房(2017年)著 『農山村再生に挑む』岩波書店(2013年)共著、など。		
昨年度 受講者の声	▶ 地域の人々と協働して地域づくりをすることの必要性を学べた。		
	▶ 地域が自主的に行政活動に関わってもらい、地域と一体となって県政の運営をどのように行っていくかを学ぶことができた。		
	▶ 各町での課題や、取り組み状況を知ることができ、これから情報交換をするバイパスが出来た。		

日程表

		8:50	9:20	9:30		12:00	13:00		16:15
1 日目	受 付	オリ エン テー ション	○ガイダンス・アイスブレイク ○講師講演 ・地域づくりの実態・課題 ・地域づくりのやる気と動機 ・多様な人材の確保、活躍の推進 ・行政職員の関わり方 ○意見交換・質疑応答			昼 食	○コミュニティ大工の広がり役割(ゲスト講演①) ○鹿児島県庁CDCの活動とメンバー(ゲスト講演②) ○パネルディスカッション ○意見交換・質疑応答		
			2 日目	受 付	○ワークショップ① ・支援、連携する地域活動、地域組織の現状 ・職員としての地域との関わり方 ○講師・ゲストコメント			昼 食	○ワークショップ② ・県庁・市役所〇〇クラブを立ち上げる! ○講師・ゲストコメント ○まとめ
		8:45			9:15				12:00

アンケート・閉講

※上記内容は、研修実施時に変更されることがありますので、ご承知おきください。